

柔道整復科

解剖学3

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	砂川正隆			実務 経験	無	職種					

授業概要

人体各器官の存在場所や特徴を学び解剖学を統括します。

到達目標

人体構造の系統を把握し、人体の正常構造について統合的に理解し、器官と部位の解剖用語を理解する。器官の三次元的関係を把握し、画像解剖学と対応させながら、説明でき、単に人体部位の名称の羅列ではなく、有機体としての人体の構造を自然科学の視点で捉え、基礎科目・臨床科目の学習の基盤となりうる、知識の基礎を身につけることを到達目標とする。

授業方法

解剖学各系統について正常構造を統合的に理解し、模型や画像を用いて器官を三次元的にも把握できるようを行う。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（解剖学-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	感覚器系①
第2回	感覚器系②
第3回	感覚器系③

第4回	感覚器系④
第5回	体表解剖①骨格系
第6回	体表解剖②筋系
第7回	体表解剖③脈管系
第8回	前半振り返り
第9回	体表解剖④神経系
第10回	体表解剖⑤顔、外皮、生体計測
第11回	映像解剖①X線
第12回	映像解剖②CT、MRI
第13回	映像解剖③サーモグラフィー
第14回	後半振り返り
第15回	まとめ